



# 松ヶ崎だより

学校評価特集号

京都市左京区松ヶ崎堀町 40  
TEL.075(781)3380 / FAX.075(781)3252  
<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=108201>



令和6年10月30日  
京都市立松ヶ崎小学校  
校長 服部 恵介



## 評価を教育実践に生かすために

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。このアンケートは学校評価の一環として、子どもアンケートとともに実施しています。本号では、アンケートの結果と、結果をもとにした自己評価についてダイジェストでお伝えします。

### <アンケート調査の概要>

対象	調査期間	対象数	集計数
子ども	6月24日(月)～28日(金)	341名	319名(93.5%)
保護者	6月24日(月)～7月1日(月)	341名	153名(44.9%)

### <アンケート調査の特徴>

比較評価のため児童・保護者・教職員のアンケートでの質問を、それぞれが同じ内容になるように項目をそろえている。

#### 例) 項目 I

子: 学校へ行くのが楽しい。

保: 子どもは、学校へ行くのが楽しいと感じている。

教: 学校が楽しいと感じるように、授業をしたり活動をさせたりしている。

### <アンケートをもとにした自己評価の流れについて>

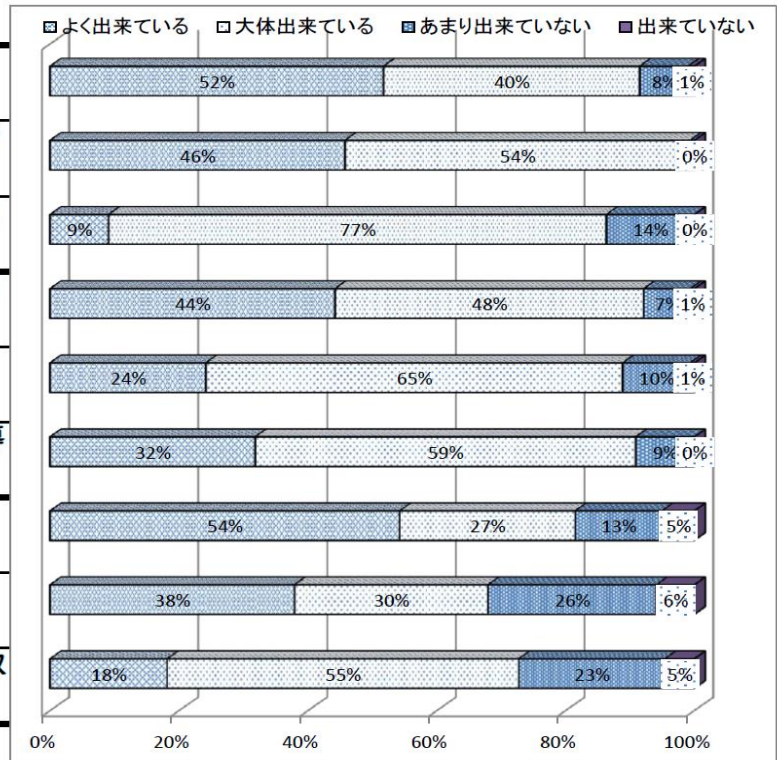
- ① 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成 という3つの視点で教職員にもアンケート調査を実施(7月)
- ② アンケート結果をもとに成果と課題を明らかにし、課題の解決に向けた取組を教職員で話し合うための研修会を実施(8月)
- ③ 自己評価の中身について、学校運営協議会に説明。学校運営協議会から、自己評価に対する意見と評価(10月10日)
- ④ 成果と課題、課題の解決に向けた取組をまとめた「子ども・保護者・教職員アンケートをもとにした自己評価」を作成(10月)

### <ダイジェスト版の見方>

保護者・子ども・教職員アンケートの結果を、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成という3つの視点に分けて、グラフで示しています。紙面の関係上、保護者や子どもアンケート結果のすべてを載せることができませんが、ご容赦ください。研修会を経て作成した「子ども・保護者・教職員アンケートをもとにした自己評価」については、ホームページ上に公表いたします。

# 「確かな学力」の育成に向けて

子	授業がわかりやすく楽しい。
保	学校では、わかりやすく楽しい授業が行われている。
教	わかりやすく、楽しい授業を行っている。
子	話を聞く時は、相手を見て、最後まで静かに聞いている。
保	子どもは、相手を見て最後まで聞くことができる。
教	「相手を見て、最後まで聞く」ことの指導を徹底している。
子	自分からすすんで本を読んでいる。
保	子どもは、すすんで読書をしている。
教	授業等で、読書に親しむような指導や取組を行っている。



<アンケートから見てきた成果(○)と課題(●) 課題の解決に向けた取組(□)>

## 1. 楽しく学ぶ授業

- 各家庭での学校教育への協力に支えられ、学習への意欲を高くもつことのできる子どもが育っている。
- 話を聞くことの指導については一定の成果が出ている。
- 学習がわかりにくく、楽しいと感じられていない子どもに対しての指導に課題がある。
- 校内研究により、協働的な学び、個別最適な学びについての研修を行う。
- 子どもの学習での活動時間の確保を意識した授業を実践する。
- ICTを効果的に使った実践についての研修を行う。

## 2. 読書の習慣

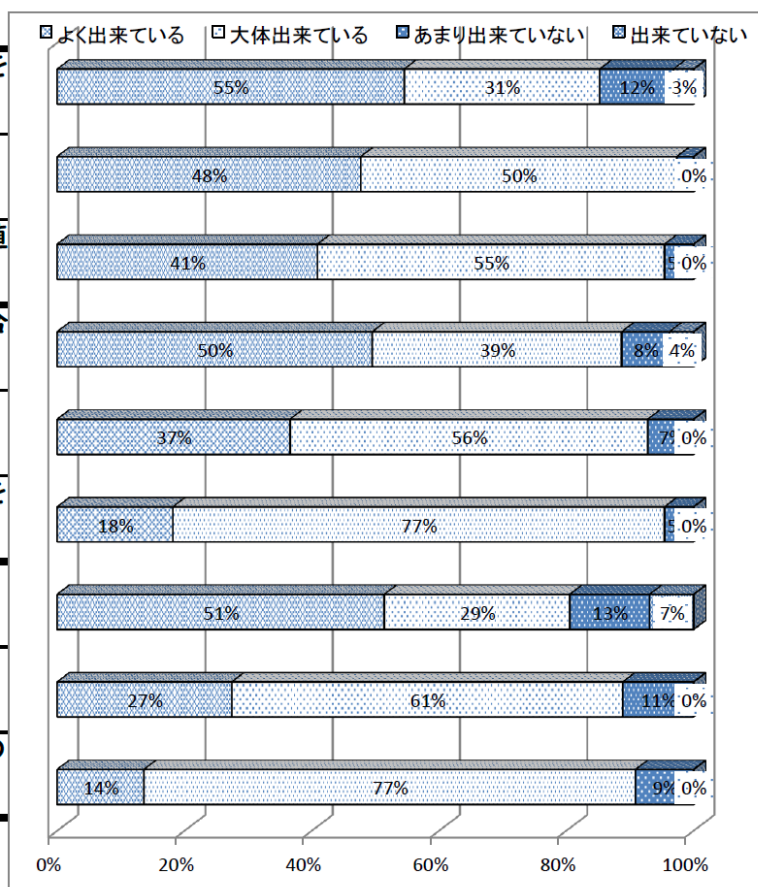
- 読書ノートを活用して、多くの本を読む子どもが一定数いる。
- 図書ボランティアの方に本の魅力を教えていただく機会を多くもてた。
- 読書活動を推進するための教育活動については以前に比べて教職員の意識が下がっている。
- 落ち着いて読書をする時間をどの学年でも設定する。
- 読書の魅力について、教職員から積極的に発信する。

## 3. 全体を通して

- 6年生の全国学力学習状況調査、5年生6年生のジョイントプログラムの結果より、全体的に高い学力がついていることが確かめられた。
- タブレットPCの活用実践が進み、高学年での効果的な利用につながっている。
- 学年が上がるにつれて、学習に困難を抱える子どもの割合が増える。
- 持ち物や時間を守るといった学習規律について指導が足りていない実態が一部で見られた。
- クラス内に学力の差があっても皆が楽しく感じられる授業を研究していく。
- 学年に応じたICT活用を進めていく。
- 授業技術の向上を図るための公開授業を行う。

# 「豊かな心」の育成に向けて

子	先生は、私の良い所や頑張っている所をほめてくれる。
保	子どもは、学校の教員に良い所や頑張っている所を認めてもらっている。
教	子どもの良い所やがんばりをほめ、価値を伝えている。
子	友達の良い所を見つけ、誰とでも力を合わせて頑張っている。
保	子どもは、友だちの良い所を見つけ、伝えることができる。
教	「共感的人間関係を育成する」手立てを日常の授業の中で行っている。
子	自分には良い所があると思う。
保	子どもは、自分の良い所を自覚している。
教	「自己存在感を与える」手立てを日常の授業の中で行っている。



<アンケートから見てきた成果(○)と課題(●) 課題の解決に向けた取組(□)>

## 1. 自己存在感・自己有用感

- 自分の良さを自覚できている子どもは一定数いる。
- 保護者評価では学校の指導には一定の評価をいただいている。
- 「先生に認められ、褒められている」と感じられていない子どもがいる。
- 子どもと教職員の間に「良い面への価値づけ」についての意識差が見られる。
- 一人一人の子どもの良さを見取り、日々伝えていく。
- 学級経営に長けた指導のできる教員の実践を校内に広げる。

## 2. 共感的人間関係を築く

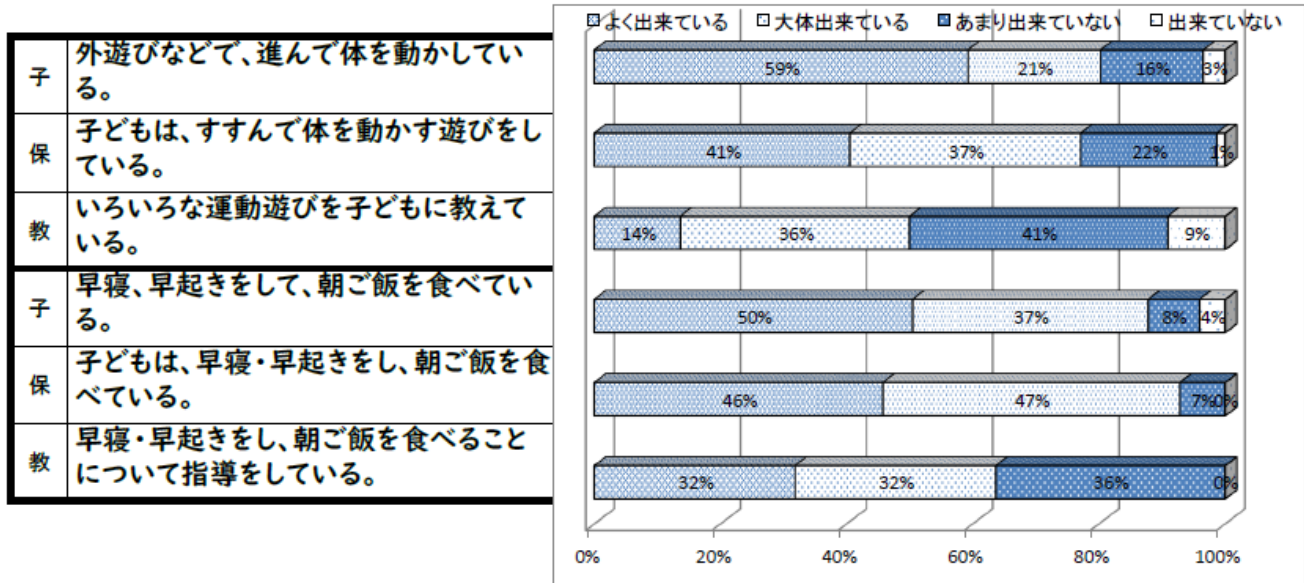
- 温かい雰囲気を作ることができているクラスが多い。
- 友達の良い所を見つけられる子どもがとて多くいる。
- 学校生活の中で協力できずに、お互いを認め合えずトラブルとなるケースも見られる。
- 学級の機能を生かした一人一人のつながりを生み出す活動を日々行う。

## 3. 全体を通して

- 多くのクラスで互いが認め合える人間関係づくりを進められている。
- 自分の良さについて自信をもてていない子どもがいる。
- たてわり活動などで、子どもが主体となって活躍できる場をつくる。



# 「健やかな体」の育成に向けて



<アンケートから見てきた成果(○)と課題(●) 課題の解決に向けた取組(□)>

○休み時間に元気に外で遊ぶ子どもの姿が見られる。

○生活リズムを整えることが、各家庭でしっかり行われている。

●外で遊ぶ楽しさについて、担任からの発信があまり積極的でない。

□教師と一緒に外で遊ぶ。

□一輪車や縄跳びなどの遊びの楽しさも含め、体を動かす楽しさを教師と子どもで共有する。

## 自由記述から

ご多用の中、自由記述欄にもご意見をいただき、本当にありがとうございました。いくつか、紹介します。

### 日々の学習・生活について

- ・ 登下校中に気に掛けて声を掛けて下さる優しいお兄さんお姉さん達が本当にたくさんいて下さるなあと、親心にも大変嬉しく、心強く感じております。優しくステキなお兄さんお姉さん達のように成長して欲しいと願っています。
- ・ 学年が上がり、教科によって先生が変わるのでいろんな先生のお話や授業内容が聞けて良いです。
- ・ とても学校生活を楽しんでいるようで安心して送り出しています。校外学習やたてわり活動など、色々な経験をさせてもらってありがたいです。

### 学校行事について

- ・ 体育科の授業の参観があればよいと思いました。
- ・ 校外学習やたてわり活動など、色々な経験をさせてもらってありがたいです。

### 学級通信やホームページについて

- ・ 今年度から、学級だよりが連絡のみの内容になり、学習や生活の様子などがわからず残念に思っています。
- ・ 学校の様子が HP で見られる事が安心できる。

ご意見ありがとうございます。紹介できなかったご意見も含めて、お答えできるものについては、個人懇談の場などでもお伝えしました。

ご家庭・地域の皆様におかれましては、日々の教育活動を支えていただきありがとうございます。引き続き、ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。